

こんふおと便り

第 5 号
平成 24 年 3 月 1 日
発行者 田中利征



2月3日、節分の日のデイサービスでは、皆様をお迎えに行く前に、職員二人が鬼の面をつけて各お部屋を訪問しました。最初は皆様突然の出来事にキョトンとしていましたが、他の職員に豆を手渡され、趣旨を理解して「鬼は外！」と言いながら豆をぶつけて鬼を追い払います。騒ぐ職員にO様は「うるさい！」とお叱りになり、これは豆より怖いです。一度に齢の数は食べられないでしょうが、残った豆は後で皆様各自お部屋にて召し上がっていました。お昼は魔除けの意味もあるお赤飯を炊いて、恵方巻きも作り、皆様のご健康とご多幸を祈願しました。福が沢山来ますように！



節分にちなんで、ダンボールに大きな鬼の顔を描いた物に穴を開けてお手玉を投げて得点を競ってもらいました。狙ったところになかなか入らず苦戦されている姿もありましたが、腕を使う訓練でありながらも楽しまれている様子でした。



12月から、こちらのこんふおとで実習生として働きながら資格を取るという同時進行で行って参りました。何も解からずいちからのスタートで初日の日は、利用者様の名前を覚える事で精一杯でした。「清拭」「ウエス」「褥瘡」などなど初めて聞く言葉が多く、どのような時に使う言葉なのか始めは、わかりませんでした。身の回りの事やデイサービスの一日の流れなど様々な事について、職員の方たちが丁寧に教えてくださり利用者様とのコミュニケーションの取り方や対応など職員の方々は上手にされており言葉の伝え方や表現ひとつで変わるんだなと感じました。

利用者様にとって楽しく一日を過ごしていただく事や、一人一人にあった対応や気遣い、コミュニケーションをとり常に臨機応変に行動する事も大事であると



思いました。職員の方々に沢山の事を学ばせていただきました。3ヵ月間本当にお世話になりました。
下川 裕美

今月の予定

- ・ おひな祭り
- ・ 外出レクリエーション